

山手小学校区「スクールガード通信」

スクールガード山手小学校区

コロナ禍の中二学期もスタートし、子ども達は元気に登校していますが、防犯ネットから配信される不審者情報を見ますと当校区内での発生も散見されます。

地域（子どもに限らず住民全体）の安全・安心を確保するには、防犯カメラなど監視機器などありますが、一番必要なのは、住民の監視の目（見守り活動）ではないでしょうか。

今回は、地域の見守り活動についての思いを関係者に語っていただきました。

日ごろより、本校の子どもたちのためにスクールガード等を見守り活動を中心に温かく見守っていただき誠にありがとうございます。感謝の気持ちでいっぱいです。学校と地域は密接な関係にあります。

通っていて良かったなと思える学校、生まれ育って良かったなと思える地域、子どもたちにそのような思いを持って育って欲しいなと考えます。

「よい地域には良い学校がある。良い学校はよい地域を作る」と言われています。

どうか今後も地域と学校が密接な関係となり、互いに助け合える場を作っていければと考えています。



色川校長

見守り活動に参加して、私の実感です。

- ・パパ/ママさんも挨拶してくれることがあり顔見知りの人が増えました。
- ・子ども達と挨拶を交わし、元気をもらっています。
- ・自然に（意識しないで）規則正しい生活となり健康作りにつながっています。

皆さん、見守り活動に参加してみませんか！

出来る範囲でいいですよ

スクールガード 榎本伸行

通称:トンボのおじさん



ご近所の目

長引くコロナ禍による活動制限をキッカケに、PTAの存在意義や活動の貢献性を見直し、子ども達の「安全で快適な環境」の構築に、より力を入れて取り組んでおります。

我々やスクールガードなどの社会活動への、関心と理解がより高まり、一人でも多くの参画者が増えることを期待しております。



PTA)役員

見守り活動（スクールガード）をやっていると、色々な場面に遭遇し、対象が単に子ども達の見守りだけでなく地域住民全体の見守りの場、子ども達から学ぶあるいは教える（指導）場であることに気がきます。最初の一步は勇気が必要ですが、踏み込んでみると自然と自分の生活パターンに組み込まれていきます。そんな風に感じる一コマ（光景）の一部を紹介します。



スクールガード 金内昇

見守り日記
〇月×日



大人も見習おう

- ・縁石付近にタバコの吸い殻から煙が出ていると教えてくれた。
- ・ゴミを拾って持ってきてくれた。

思いやり

- ・傘を忘れて取りに帰った男の子を女の子3人が待っていてくれた。
- ・朝顔の落とし物を学校へ届けた。
- ・暑い日、信号待ちしていた友達にも日傘を掛けてあげた。
- ・いつも立っているおじさんがいないので「どうしたのですか？」と心配してくれた。（おじさんが体調不良で休みの時）

地域の見守り(安全)

- ・フェンスのボルトが抜けて用水路に落ちる危険があり、暫定処置を近隣の自治会に施していただき市に連絡した。
- ・認知症、急病人の人を近隣の人と協力して助けた。



ふれあい

- ・ある日、大きな声で挨拶をしてくれたので話しかけると“挨拶チャンピオン”になったと教えてくれました。
- ・理科の授業で育てた綺麗に咲いたマリーゴールドを見せてくれました。



危ないよ

- ・縁石の上を歩いたり車道に降りたりする児童
- ・通学路を通らないで近道を通る児童

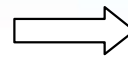


言葉づかいの指導

おはよう→（大人には）おはようございます。
今何時？→人に聞く時は、今何時ですか？
（勿論正しい使い方をする子も大勢います）

連絡先：金内

裏面へ



＜教育委員会からのお知らせ＞

「いかのおすし」をご存じですか？

明石市では、学校、家庭、地域が連携して「子どもの安全を守る」取り組みを進めています。

あわせて、子ども自身が自己防衛、防犯意識を高めることも重要です。

「いかのおすし」とは、子どもが知らない人に声をかけられたときに、被害にあわないようにするための行動を示した警視庁の考案による防犯合言葉です。

ご家庭においても、「いかのおすし」を活用して「自分の身は自分で守る」ことを、日頃からお子様に教えていただきますようお願いいたします。

防犯合言葉「いかのおすし」

- ・知らない人について「**いか**」ない
- ・知らない人の車に「**の**」らない
- ・「**お**」おきな声で叫ぶ
- ・怖いなと思ったら、「**す**」ぐ逃げる
- ・怖いなと思ったら、家の人にすぐに「**し**」らせる



いかない のらない おおごえでさけぶ すぐにげる しらせる



「スクールガード」に登録をお願いします

スクールガードに登録された方は活動中の事故等について、市の「コミュニティ活動災害補償保険」（保険料は市負担）が適用されます。

ぜひ、子どもたちの安全を見守るスクールガード活動にご協力ください。



各小学校での登録を
お願いします！

賠償責任補償 (免責金額: 1事故につき1万円)	身体賠償 〃 財物賠償 受託物賠償	限度額 1名につき 3,000万円 限度額 1事故につき 1億円 限度額 1事故につき 500万円 限度額 1事故につき 100万円
	死亡 後遺障害補償 入院補償 通院補償 手術治療	500万円 程度により500万円を限度 1日 3,000円 1日 2,000円 3万～12万円
傷害補償		

自転車保険への加入をお願いします

兵庫県では、平成27年に「自転車の安全で適正な利用の促進に関する条例」が施行され、県内で自転車を利用される全ての人に「自転車損害賠償保険」等への加入が義務づけられています。

自転車損害賠償保険等とは、自転車事故により生じた他人の生命又は身体の損害に賠償ができる保険又は共済をいいます。

万が一の場合に備えて、自転車保険に加入をお願いします。



スクールガード研修会

今年度予定していました「スクールガードあかし」研修会は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、集団感染の要因となる3つの密を避けるため、来年度に延期させていただきます。



「おれんじキャップ」を着用した人がたくさんいることが、犯罪の大きな抑止力になります。今後とも子どもの見守り活動にご協力くださいますようお願いいたします。
また、古くなって色あせた「おれんじキャップ」は新しいものと交換しますので、各小学校までお申し出ください。



明石市教育委員会事務局 青少年教育課 育成係 ☎078-918-5057